

ご挨拶とセミナー主旨

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素はご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、PwC中国日本企業部では、このたび「サイバー攻撃のトレンドから考える有効なサイバー演習とは？」と題したオンラインセミナーを開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

近年、DXを契機としたビジネス環境の変化に伴い、サイバーリスクへの対処はますます重要なっています。

第三者からのサイバー攻撃がビジネスに与えるインパクトが大きくなり、それによるサイバーアクセントがビジネス継続の成否に直結する時代になりました。近年のサイバー攻撃は、企業のITシステムにとどまらず、スマートファクトリーなどのOT領域も対象となっています。また、特定の企業の従業員を狙う標的型メール攻撃も増加しています。

サイバー攻撃の手法は多様化・高度化しているため、どんなに準備をしていても、セキュリティインシデントが発生することがあります。こうした状況においては、サイバー攻撃を完全に防ぐためだけではなく、セキュリティインシデントの発生を前提とした体制の構築、維持向上が必要です。そのため、昨今では現状の組織力、対応力を確認・強化する目的で、セキュリティインシデントを想定した演習が重要視されています。

そこで本セミナーでは、サイバーセキュリティインシデントに対し、現状組織体制でどこまで対応が可能なのかを、第三者的な視点から点検・評価する、サイバー演習の進め方についてケーススタディを交えて説明いたします。サイバー演習では、特定の攻撃シナリオに沿ってインシデント対応の演習を行いますが、本セミナーでは標的型メール攻撃を例に紹介いたします。セキュリティインシデントへの対応方法や手順を理解し、現状のポリシーや手順、体制などにおける課題や改善策を明らかにするまでの具体的な過程を解説いたします。

サイバー演習の実施をご検討されている方、今年のサイバー演習は例年よりも更に踏み込んだ内容にしたいと考えておられる方に、ぜひご参加頂ければと存じます。

敬具

PwC Mainland China and Hong Kong 日本企業部統括代表パートナー
高橋忠利

開催概要

開催日	2月15日(水)
時間	14:00～15:00(中国時間)
開催方法	Zoom開催(後日URLをお知らせいたします)
使用言語	日本語
参加費	無料
共催	時事通信社上海支局

プログラム

時間	進行予定	講演者
14:00-14:05	開会の辞	阿部
14:05-14:55	サイバー演習概要 ケーススタディを通じて学ぶサイバー演習	阿部／唐鎌
14:55-15:00	閉会の辞	唐鎌

講師のご紹介



PwC中国 北京事務所 日本企業部 シニアマネージャー 阿部 真和

2010年にPwCあらた有限責任監査法人に入所後、主に製造業、流通業、サービス業等の国内上場会社および海外会社の日本子会社などの財務諸表監査及び内部統制監査業務に従事。
2022年よりPwC中国北京事務所に出向後、日本企業部でリスクアシュアランスを担当し、中国進出日系企業に対する内部統制強化、コンプライアンスヘルスチェック、サイバーセキュリティ評価等の支援サービスに従事。



PwC中国 上海事務所 日本企業部 マネージャー 唐鎌 宏行

2015年に外資系コンサルティング会社に入社後、主に小売業、金融業、製造業など、様々な業種のクライアントに対し、データサイエンティストとしてデータ分析業務やAI・機械学習モデル構築に従事する一方、システムエンジニアとしてITシステム導入に従事。
2019年に日系コンサルティング会社に入社後は、ベンチャーキャピタルとのネットワーキングやテクノロジー系スタートアップが保有する技術シーズの調査分析・評価を通じて、新規サービスの開発・提供を担当。
2020年より、PwC中国上海事務所に入社後、データアナリティクスを活用した内部監査サービスの支援に従事。

お申し込み方法: (競業他社、必要事項を非開示とされる方のご参加はお断りいたします)
下記リンクにアクセスいただき、お申込フォームへ必要事項をご記入下さい。

お申込用リンク:

<https://appcndm470.digitalmaker.pwczhongtian.cn/cn/jponlineregistration/vForm/0215RAwebinar/Add/>

お申込締切: 2月14日(火)12:00(中国時間)

お問い合わせ: PwC中国 滩(日本語可) mandy.shen@cn.pwc.com